



日本共産党 荒川区議会議員
Japanese Communist Party

横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

903 2024年7月21日
日本共産党荒川区議会議員団
区役所控室 3802-4627
横山事務所
荒川区町屋5-3-5
&fax 3895-0504

定例法律相談
8月はお休です
お急ぎの方は、ご連絡下さい。別の法律相談を紹介します。

コミュニティバス
さくら特集…

汐入さくら廃止・運賃値上げの提案(京成バス) 荒川区は了承し議会に報告しましたが…?

近隣区はコミバスの予算増額で維持へ
荒川区との違いが鮮明に…

京成バスが廃止を提案
京成バスは、この間さくら2路線とも大幅減便、
値上げを行つたが改善せず
「大幅な赤字」が続いてい
るそのためほぼ同じ路線を都営バスが走つてゐる汐入さくらを廃止、さくらの運賃を180円から220円に値上げを今年度末に実施したいとの提案。

また「多額の補助金があつたとしてもこの状況は変わらない」としています。
この先、残りのさくら一

行していいる近隣区でも、
バス会社の経営上の問題とともに2024年問題
が大きな問題になつています。

23区で京成バスが「ミニ
ティバスを運行してい
る区は、荒川区以外に墨
田、台東ですが路線廃止
提案はないようです。い
ずれも運行の赤字補てん
(下表)をしています。
荒川区が真っ先に対象な
ことが推測されます。

「コミュニティバスを運
行している近隣区でも、
バス会社の経営上の問題とともに2024年問題
が大きな問題になつてい
ます。

足立区も赤字補てん
を予算化
お隣足立区は、荒川区
と同じ「自主運行」です
が、事業者の3路線廃止
を受け、残りの路線維持
へ今年度6億円の予算を
計上しています。どの区
とも住民の切実なコミュニ
ティバス存続要求に真剣
に向き合つています。

「コミュニティバスを維持する最大の問題は、やはり運行経費への赤字補てんにあります。荒川区は、区内は平坦な地形で公共交通もあり交通不便地域はない」として、運行経費補助をか

たくなに拒否しています。
一方で「デマンドタクシ
ー」として、運行経費補助をか

京成バスが廃止を提案
京成バスは、この間さくら2路線とも大幅減便、
値上げを行つたが改善せず
「大幅な赤字」が続いてい
るそのためほぼ同じ路線を都営バスが走つてゐる汐入さくらを廃止、さくらの運賃を180円から220円に値上げを今年度末に実施したいとの提案。

また「多額の補助金があつたとしてもこの状況は変わらない」としています。

近隣区地域公共交通会議に報告し了承を得るとしています。
今後、秋の荒川区地域公共交通会議に報告し了解しました。

近隣区のコミュニティバスの運行状況

	実施形態	運行便数	区の関連予算(2023年度)	区の関連予算(2024年度)
台東区	区の補助事業(区が赤字補填)	5路線	3億120万円	3億3596万円
墨田区	区の補助事業(収支不足額の全部または一部を区が補填)	3路線	1億8570万円	2億1524万円
足立区	バス会社の自主運行(都バスと同じ大人210円で運行)	補助金なし	6億円	

やグリーンスローモビリティなど代替え交通手段の導入を検討するといいます。税の投入なくして実施が可能であることを区も認めています。
地域公共交通政策の策定を求める意見書(共産)を実施しています。移動の保障・交通は人権です。区は、将来を見越し、実態調査を実施し地域公共交通政策を策定すべきです。



旧加藤産婦人科(上)
下が、旧町屋区民事務所

解体後は、防災スポットになるようですが…
日々に駅から町屋2丁目の
旧町屋区民事務所方面に向か
うと、手前に旧加藤産婦人科
クリニックだった建物が壊で
込まれていました。その先が
旧区民事務所。全体が壊で
われていますが、解体工事
はまだのようです。その後
は、防災スポットになる計
画です。隣の旧加藤産婦人
科はどうなるのでしょうか。
科はどこにしても木造密集地
域の中であり、燃えない、倒
れないまちづくりに貢献する
ような跡地利用になるとい
うですね。



横山幸次

健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書(共産) 自民が賛成するも公明・ゆいの会が賛同せず上程されず

政府は、12月に健康保険証の廃止を強行しようとしています。一方、マイナ保険証の利用率は、いまだ6%台、しかも全国でトラブル、混乱も広がっています。

うしたなか、日本共産党区議団は、6月会議に「健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書」を提案。幹事長会の協議で自民党は、混乱も広がっており意見書に賛同することを表明。しかし公明が「区内で混乱はない」と根拠不明の理由で反対。ゆいの会は、「賛同者になれない」との態度。結局共産、自民両会派では3分の2までいかないため、不調となり上程されませんでした。

マイナンバーカードを事实上強制し医療現場に混乱をもたらすやり方は、止めるよう声をあげていきましょう。



荒川区の 公園事情

区が「大規模公園の在り方について」を報告…まちづくりの重点課題・住民参加で公園整備を



整備中の 大規模公園

整備中の大規模公園（下線は今後整備する機能）

全館の入院医療設備（＊床数は「医療施設の機能」）						
	面積	遊び (遊具、自然体験)	休養 (景観、飲食)	健康	防災	関連
町屋公園	228 ² /4	水遊び施設 大型インクルーシブ遊具	広場空間 河川テラス	スポーツ 施設	永久水利	-
宮前公園	4.18 ² /4	ローラー滑り台 子ども広場 水遊び施設 大型インクルーシブ遊具	河川テラス ガーデンエリア 芝生広場 カフェ 大屋根広場	テニス	永久水利 備蓄倉庫 災害医療拠点 広域避難場所	保育園 図書館 病院
南千住浄水場跡地	288 ² /4	水遊び施設 大型インクルーシブ遊具 交通教育施設	広場空間 河川テラス	小広場	広域避難場所	-

インクルーシブ施設 = 障害を持っている人も利用できる施設

開園している大規模公園	今後リニューアルや拡張整備が必要な大規模公園
宮前公園（2.3ha）	荒川遊園（5.5ha）
都立尾久の原公園（6.1ha）	荒川自然公園（6.1ha）
都立汐入公園（12.9ha）	西日暮里公園（0.4ha）
瑞光橋公園（1.5ha）	荒川公園（1.4ha）
日暮里公園（0.4ha）	日暮里南公園（0.6ha）
整備中以外の対象大規模公園の一覧	



町屋公園の今後の計画... (予定)

	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年
ホッパー撤去								開園予定
スーパー堤防			→					
公園設計・工事				→				

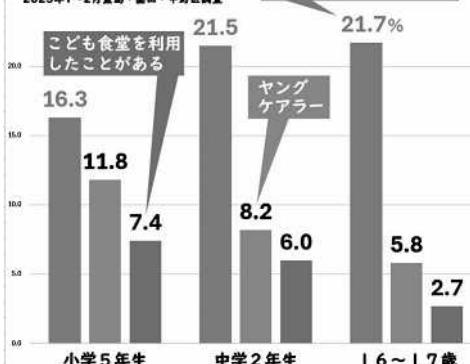
必がりくづ園

今週のデータ あらためて子どもの貧困問題に光を当てるとき…深刻な東京の実態

・ 豊島区の公立小学校に在籍する小学5年生と中学2年生（全数）とその保護者、および、豊島区・墨田区・中野区在住の16～17歳（高校2年生）年齢の子ども（全数、住民基本台帳から抽出）とその保護者を対象に実施。結果の一部ですが、生活困窮の子

深刻な東京の子どもの貧困

【出所】「東京都こどもの生活実態調査」
2023年1~2月豊島・墨田・中野区調査



東京都の調査によると東京の子どもの貧困は深刻です。この調査は、東京都立大学子ども・若者貧困研究センターが、2023年1月に墨田区

どもが小5で16%、中2で21%、16～17歳で21%となつています。賃上げや子どもと家庭への経済支援拡大など待つたなしです。

の未整備部分、南千住浄水場跡地の3カ所があります（左図と表参照）。

このうち町屋公園について区の方針は：地域バランスを踏まえ、人を呼び込めるスポーツに重点をおいた公園づくりを基本、隅田川テラスと一緒に整備するスーパー堤防と水辺空間利用の活性化、密集市街地を抱える町屋地域における

**町屋公園（ア丁目）はスポーツ施設を中心というが
温暖化のなか樹木と水辺、憩い、防災…多様な空間を
現在整備中の大規模公園 災害活動の拠点とする広場には、
町屋公園、宮前公園、空間を確保などとしていま
には、**

都市機能の中で公園が果たす役割は極めて大きな意味を持ちます。残念ながら荒川区は、公園の面積や緑被率など大きな課題があります。まちづくりの一環として、今回の大規模公園のあり方について、区民的議論が必要ではないでしょうか。

区は、スポーツ施設を中心とする方針ですが、やはり議会だけでなく、地域住民、区民の幅広い意見も聞いて、反映させるべきです。完成予定は、2032年の（下工程表参照）です。

樹冠被覆率の向上なども視野に、町屋地域は、もともと公

影の割合などを引き上げに向けた要素も必要です。区民が主体になつたワーキショップの取組なども取り入れるなど、区民参加の公

「施設を中心といふが
憩い・防災・多様な空間を
災害活動の拠点とする広場
空間を確保などとしていま
樹木による日
スポーツ施設

木造密集地域
9。ゆつくり
間も少ないの

区立幼稚園の4園廃園を 計画通りすすめていいのでしょうか？

荒川区は、2022年8月に子どもの減少の中「私立園とのバランスも考え、区立園の適正配置を検討」したとして、区立幼稚園4園と汐入こども園の中・短時間利用の廃止を提案。廃園対象の4園は2023年度才児入園申込が7名以下(南千住第三6名・尾久6名・東日暮里5名・町屋4名)で学級編成せず、他園への入園となりました。

最低限「町屋」「汐入」は来年度3歳児募集を

今年度の3才児募集は、南三(0名)尾久(2名)東日(1名)町屋(9名)。町屋幼稚園以外は学級編成が行われず、3園は来年3月、5歳児の卒園をもって廃園。今年度10名が入園した町屋幼稚園、10名定員に12名が申込んで抽選となった汐入こども園の中・短時間モ「来年度の募集は行わない」として2026年度で廃園するとしています。せめて二つの園の募集は行うべきです。

支援が必要な子どもは区立
を希望

区立幼稚園全体の園児数は減少していますが、支援が必要な園児数は2013年度30名から2017年度には99名、毎年100名前後の子どもを区立て受け入れています。区内に区立園が4園でいいのか、やはり見直しが必要です。

区立幼稚園の通園状況					支援が必要な園児
	3歳児	4歳児	5歳児	計	
南千住第二	12	19	12	43	(17)
南千住第三	0	0	6	6	(3)
町屋	10	0	8	18	(6)
花の木	15	10	7	32	(10)
尾久	0	0	14	14	(9)
尾久第二	12	15	10	37	(15)
日暮里	27	28	22	77	(23)
東日暮里	0	0	10	10	(5)
汐入こども園 (中・短時間)	9	8	11	28	(17)
計	85	80	100	265	(105)